

モデルプログラム K-1 社会参画とキャリア教育－社会参画とことばのカー

ねらい	現在、学校現場や地域の支援として行われている進路指導や進路ガイダンスなどの取り組みを知り、外国人児童生徒等の社会参画を支援することの大切さと、そのためのことばの力の育成について理解する。
対象	<input type="checkbox"/> 教師を目指す学生（教員養成課程他） <input type="checkbox"/> 日本語教育を学ぶ学生 <input checked="" type="checkbox"/> 現職日本語指導担当教員 <input checked="" type="checkbox"/> 現職一般教員 <input checked="" type="checkbox"/> 管理職 <input checked="" type="checkbox"/> 指導主事 <input checked="" type="checkbox"/> 日本語支援員／母語支援員
日本語指導・外国人児童生徒等教育の経験	<input type="checkbox"/> 経験なし <input checked="" type="checkbox"/> 1年目 <input checked="" type="checkbox"/> 2-4年 <input checked="" type="checkbox"/> 5年-9年 <input checked="" type="checkbox"/> 10年以上
高めたい資質・能力	<input type="checkbox"/> 捉える力（子どもの実態把握） <input checked="" type="checkbox"/> 捉える力（社会的背景の理解） <input checked="" type="checkbox"/> 育む力（日本語・教科の力の育成） <input type="checkbox"/> 育む力（異文化間能力の涵養） <input type="checkbox"/> つなぐ力（学校作り） <input type="checkbox"/> つなぐ力（地域作り） <input checked="" type="checkbox"/> 変える／変わる力（多文化共生社会の実現） <input type="checkbox"/> 変える／変わる力（教師としての成長）
主な内容	K 社会参画とキャリア教育 A 外国人児童生徒等教育の課題
活動形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義型 <input type="checkbox"/> 活動型 <input type="checkbox"/> フィールド型 <input type="checkbox"/> 実習
時間	60 分
流れ（・項目）	活動（◇活動の工夫）
1. 外国人児童生徒等の進路について知る。（25分） ・キャリア教育（K） 2. キャリア形成とことばの力の関連性を理解する。（10分） ・社会参加とことばの力（K） 3. キャリア形成とことばの力を促進する具体的な方法を考える。（20分） ・文化間移動とライフコース（A） ・キャリア教育とのクロスカリキュラム（I） 4. まとめ（5分） ・社会参加と自己実現（A）	1. 外国人児童生徒等の進路選択についての現状を知る。 1) 外国人児童生徒等の進路に関する実態調査の結果を分析し、進路の課題を知る。 例：外国人集住都市会議東京 2014、文部科学省 2019 2) 高校入試に関する全国の都道府県の様々な取り組みについて、講義を通して理解する。 ・入試制度（特別枠・特別措置） ・多言語進路ガイダンス 2. キャリア形成とことばの力の関連性について講義を聞いて知る。 ・有益な情報を得るために必要な言語の力 ・就業時、進学後に必要な言語の力 ・情報を批判的に捉え、取捨選択するためのことばの力 ・市民として社会に働きかけるために必要となることばの力 3. キャリア形成とことばの力を促進する具体的な取り組みについて考える。 1) 社会参画を促す実践例を文献や報告書（例：「定住外国人の子どもの就学支援事業（虹の架け橋事業）成果報告書」）を読みキャリア形成としての意義について考える。 2) 1)のような取り組みを通じてことばの力がどのように養われているかを考える。 4. 今日の活動を振り返り、児童生徒等が社会参画することを支援する重要性を確認する。
備考	短時間で取り扱いたい場合は、活動 1-2) を中心に 10 分程度で行う。